

疾病と人口減少社会

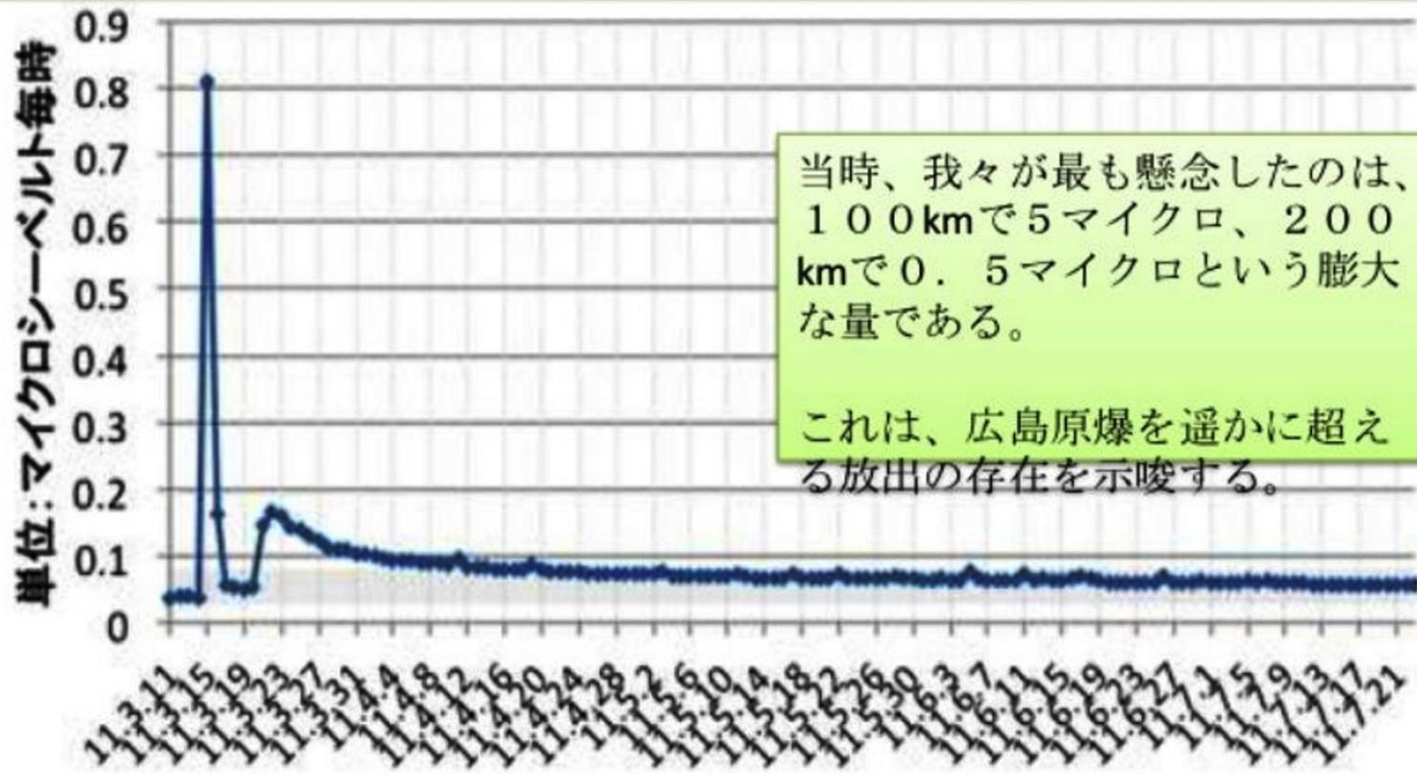


2013.09.10

■ 3/15に高い被曝をしたかもしれない

東京における放射線量の推移 (マイクロシーベルト/時)

3月15日に微粒子の放射性物質の飛散があったがこれは一過性だったのに対し、3月21日の雨によって降下し土壤に付着したため汚染は、低下が遅く今日検出されている放射性物質の多くはこれに由来していると考えている。



日常摂取する飲食物からの内部被曝がある

首都圏河川(川底)放射性物質ワースト20

水域・河川名	採取地点	市町村名	濃度
手賀沼流入河川・大津川	上沼橋	千葉・柏市	14200
手賀沼流入河川・亀成川	亀成橋	千葉・印西市	5300
手賀沼流入河川・大堀川	北柏橋	千葉・柏市	4200
江戸川水系・新坂川	さかね橋	千葉・松戸市	3600
江戸川水系・坂川	弁天橋	千葉・松戸市	3400
江戸川水系・利根運河	運河橋	千葉・流山市	3000
手賀沼流入河川・染井入落	染井新橋	千葉・柏市	2900
印旛沼流入河川・手籠川	無名橋	千葉・佐倉市	2780
印旛沼流入河川・井草水路	水路下流	千葉・鎌ヶ谷市	2750
印旛沼流入河川・節戸川	節戸橋	千葉・印西市	2330
江戸川水系・真間川	三戸前橋	千葉・市川市	2020
江戸川水系・旧江戸川	蒲安橋	千葉県/東京都	1840
印旛沼流入河川・二重川	富ヶ谷橋	千葉・船橋市、白井市	1460
手賀沼流入河川・金山落	経井沢橋下流	千葉・鎌ヶ谷市、白井市	1430
印旛沼流入河川・印旛放水路	八千代橋	千葉・八千代市	1280
印旛放水路・下流	新花見川橋	千葉・千葉市	1270
手賀沼流入河川・金山落	名内橋	千葉・白井市	1210
海老川	八千代橋	千葉・船橋市	1160
印旛沼流入河川・神崎川	神崎橋	千葉・八千代市、印西市	1150
利根川水系・根本名川	新川水門	千葉・成田市	1080

環境省モニタリング調査より、放射性物質濃度はC₁₃₄、I₁₃₁の合計、濃度は1%当たりのベクレル。この値は首都圏住民が利用する水系

13年(平成25年)4月4日(3日発行)

日刊ゲンダイ

実に基準値の1420倍

水域・河川名	採取地点	市町村名	濃度
手賀沼流入河川・大津川	上沼橋	千葉・柏市	14200
手賀沼流入河川・亀成川	亀成橋	千葉・印西市	5300
手賀沼流入河川・大堀川	北柏橋	千葉・柏市	4200
江戸川水系・新坂川	さかね橋	千葉・松戸市	3600
江戸川水系・坂川	弁天橋	千葉・松戸市	3400
江戸川水系・利根運河	運河橋	千葉・流山市	3000
手賀沼流入河川・染井入落	染井新橋	千葉・柏市	2900
印旛沼流入河川・手籠川	無名橋	千葉・佐倉市	2780
印旛沼流入河川・井草水路	水路下流	千葉・鎌ヶ谷市	2750
印旛沼流入河川・節戸川	節戸橋	千葉・印西市	2330
江戸川水系・真間川	三戸前橋	千葉・市川市	2020
江戸川水系・旧江戸川	蒲安橋	千葉県/東京都	1840
印旛沼流入河川・二重川	富ヶ谷橋	千葉・船橋市、白井市	1460
手賀沼流入河川・金山落	経井沢橋下流	千葉・鎌ヶ谷市、白井市	1430
印旛沼流入河川・印旛放水路	八千代橋	千葉・八千代市	1280
印旛放水路・下流	新花見川橋	千葉・千葉市	1270
手賀沼流入河川・金山落	名内橋	千葉・白井市	1210
海老川	八千代橋	千葉・船橋市	1160
印旛沼流入河川・神崎川	神崎橋	千葉・八千代市、印西市	1150
利根川水系・根本名川	新川水門	千葉・成田市	1080

環境省モニタリング調査より、放射性物質濃度はC₁₃₄、I₁₃₁の合計、濃度は1%当たりのベクレル。この値は首都圏住民が利用する水系

中国から飛来するPM_{2.5}や黄砂の日本中大騒ぎだが、この方のみならず、ここへやってきた、首都圏の「水」が、福島原発事故でまき散らされた放射性物質で大量汚染し、しかも汚染レベルは目を遮るほどに上昇しているのだ。

環境省は11年9月、千葉県、埼玉県、東京都の公共用水の放射性セシウム濃度をモニタリング調査(5地点)を実施し、やがて「手賀沼」の流入水域の濃度が公表された。だが、沼から上流約1・2キロ、大津川・上沼橋の川底からは、なんと1キロあたり1万4200ベクレルの放射性セシウムが検出された。これが、国が定める食品や水の基準値の1420倍に達している。

首都圏「水がめ」 驚愕のセシウム汚染レベル

台風直撃でたちまち深刻事態に

事故前は0.1ベクレル未満

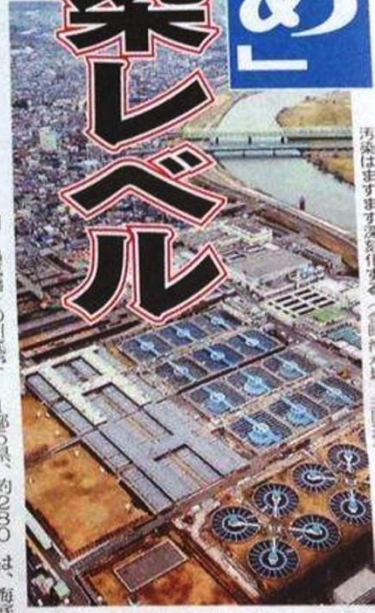
環境省は「水質そのままだとセシウムをさらもの放射性物質濃度について、『汚染水』が安全は確保されていない、しかも、前回川底にたまったセシウム濃度が上昇している調査地点は20ヶ所あるから、余計に外被曝等の影響もなると考えている」(水心配になっている。環境省)と説明する。原発事故直後は、江戸川水系の金町浄水場、瀬流が川底にた

まら、約2500ベクレルの放射性物質濃度を担い、この濃度の平均値は、約3000ベクレル、同約10万人の給水配水を担った。大堀川・北柏橋、利根川水系を力(海や河川の濃い)でも、4200ベクレル、調査条件が異なる手賀沼流入水域ほど、調査地点でも基準値を大幅に上回るセシウム濃度が検出されている(別表)。

「原発事故前の09年度に文科省が行った環境放射能調査のデータは、海老川のセシウム濃度は、1ベクレル未満で、最も低かった。この先も首都圏の「水がめ」にセシウムがまみり続ける大変だ。

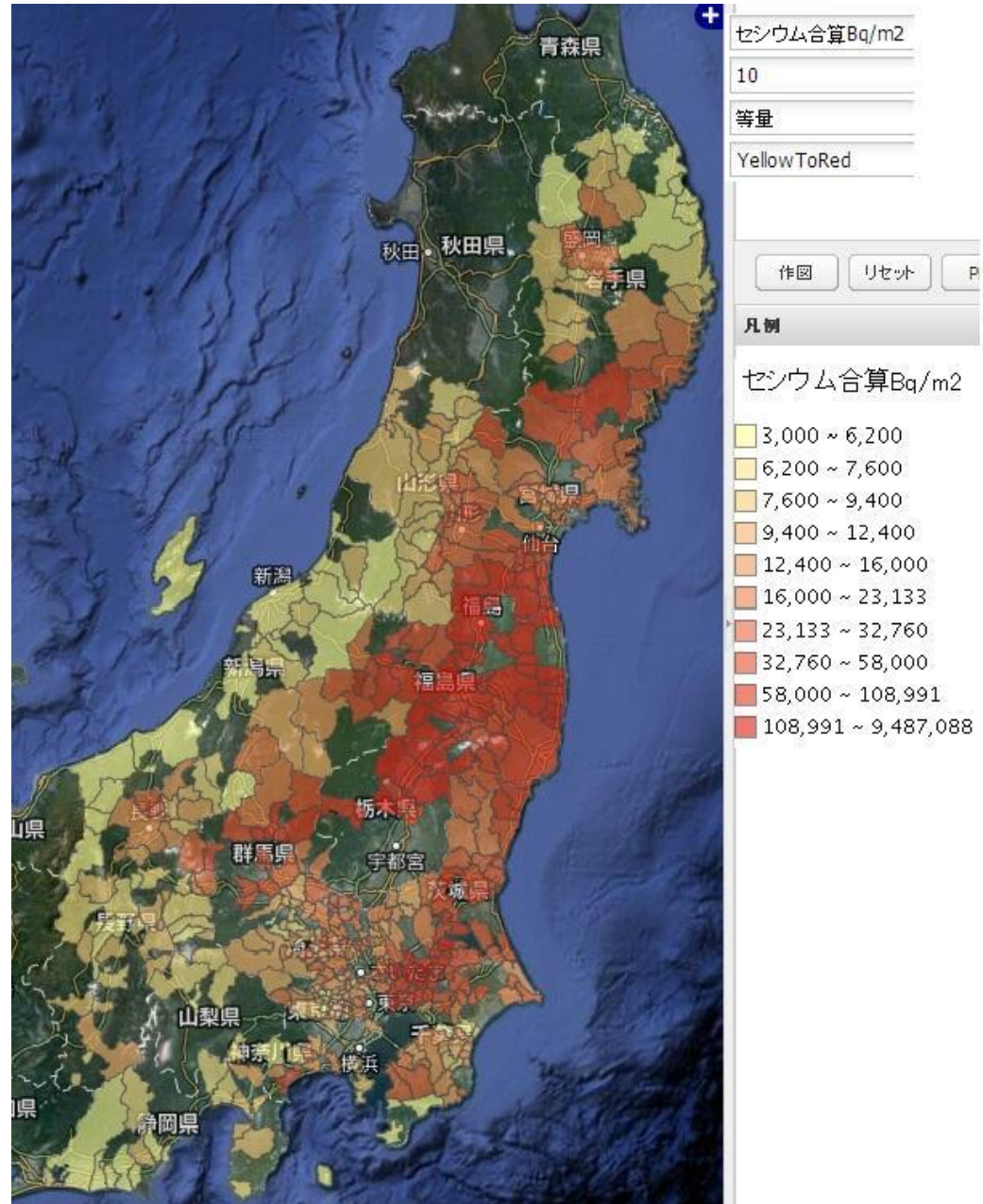
1都5県、約2500ベクレル、海老川のセシウム濃度は、約3000ベクレル、同約10万人の給水配水を担った。大堀川・北柏橋、利根川水系を力(海や河川の濃い)でも、4200ベクレル、調査条件が異なる手賀沼流入水域ほど、調査地点でも基準値を大幅に上回るセシウム濃度が検出されている(別表)。

「原発事故前の09年度に文科省が行った環境放射能調査のデータは、海老川のセシウム濃度は、1ベクレル未満で、最も低かった。この先も首都圏の「水がめ」にセシウムがまみり続ける大変だ。

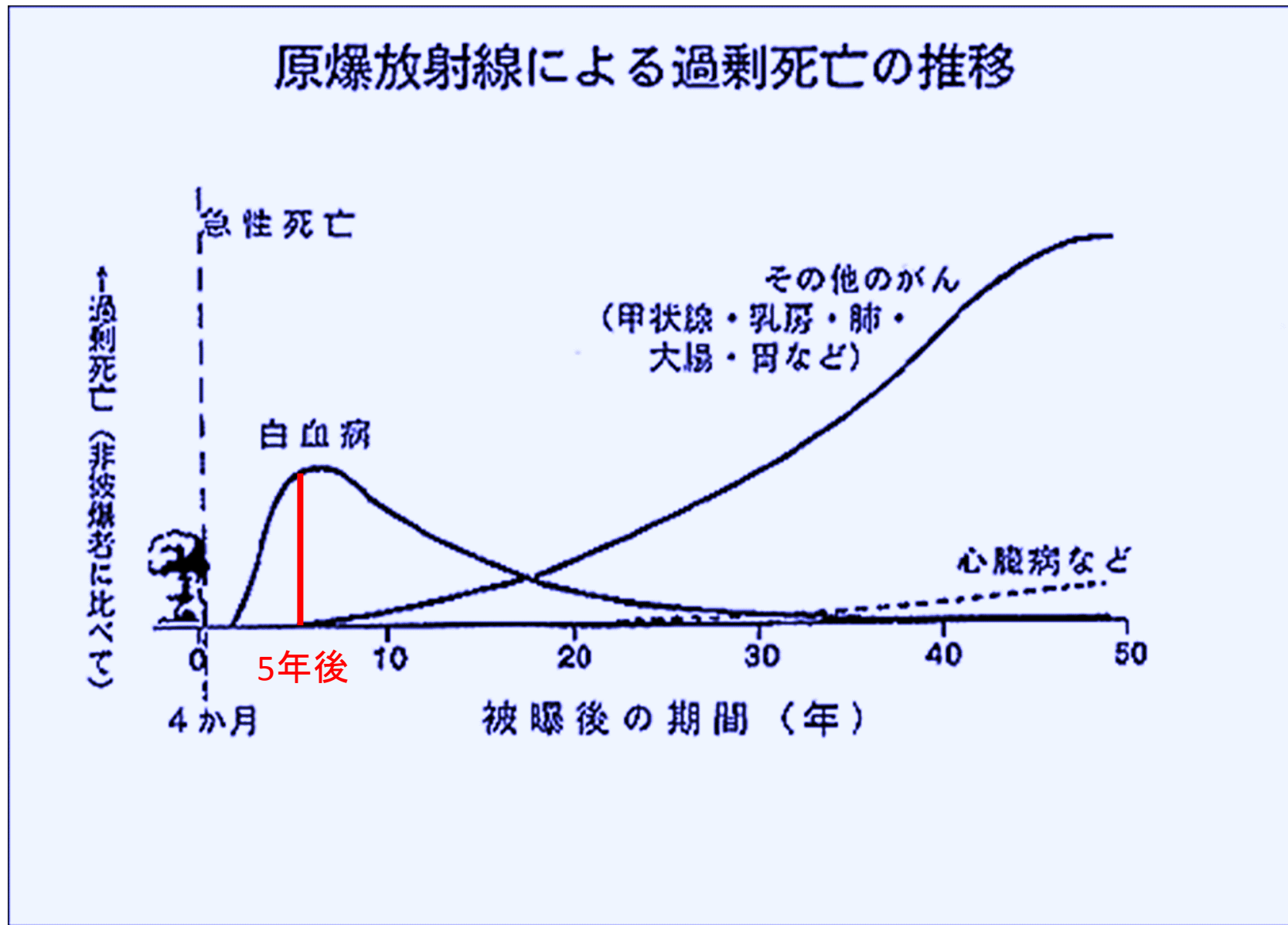


汚染はますます深刻化している。写真：環境省提供

■ 広範囲で汚染されている

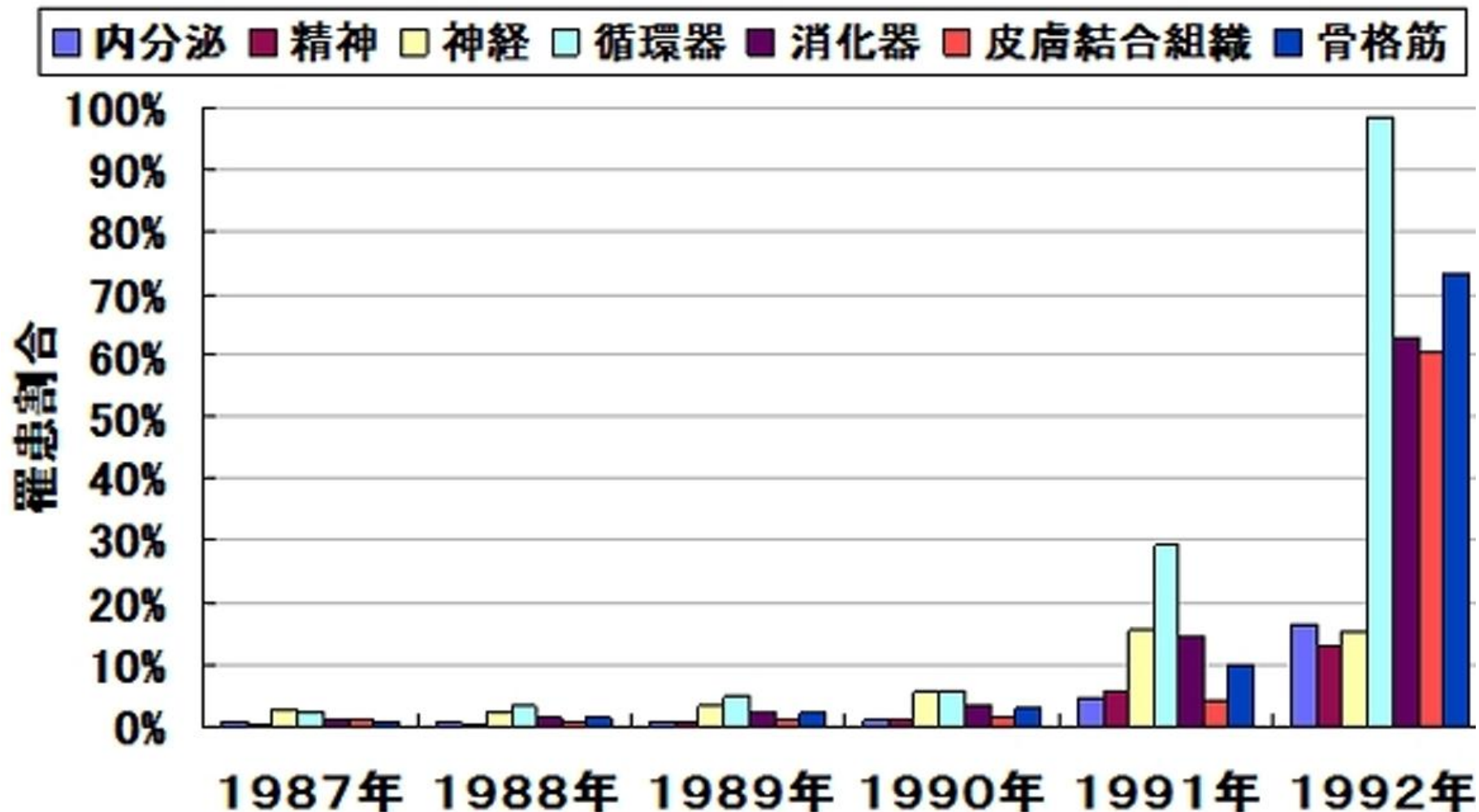


■ 5年後から白血病のピークを迎える



5年後から疾患が激増する

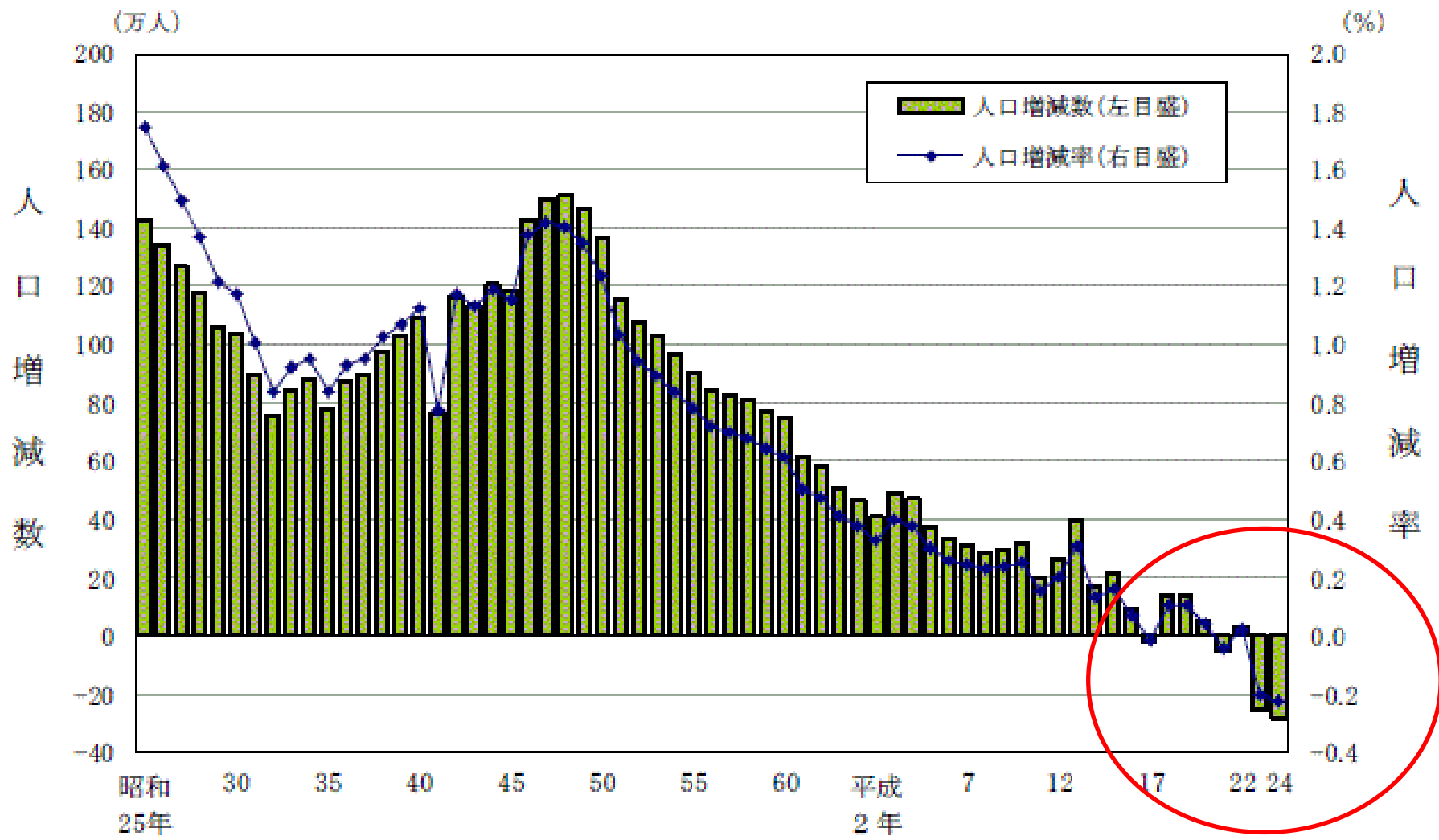
チェルノブイリ原発事故で被曝した
北ウクライナ住民にあらわれた精神、神経、身体の疾患



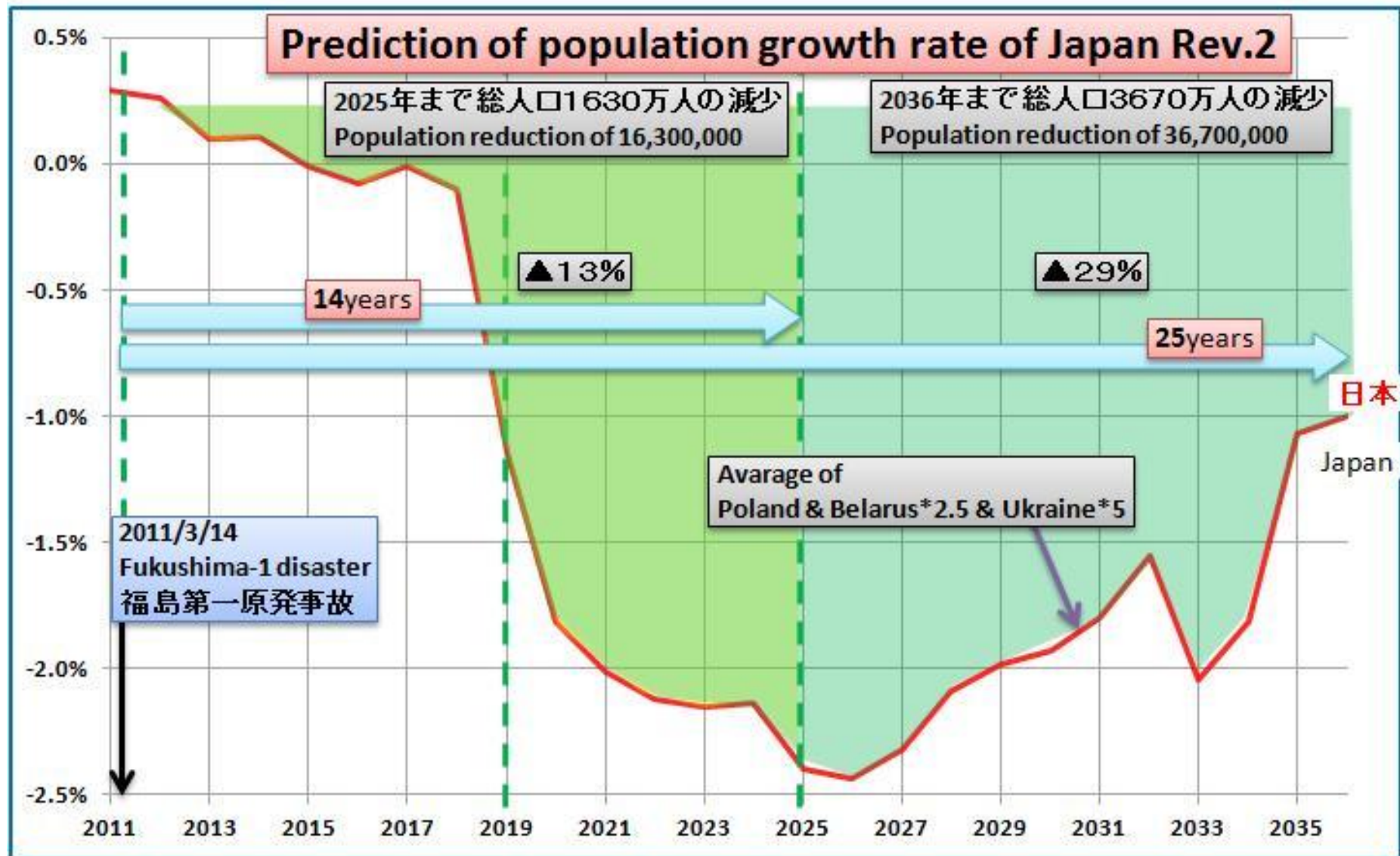
データ出所:『チェルノブイリ原発事故がもたらしたこれだけの人体被害』85頁 表7-1

政府も人口減少社会に注目している

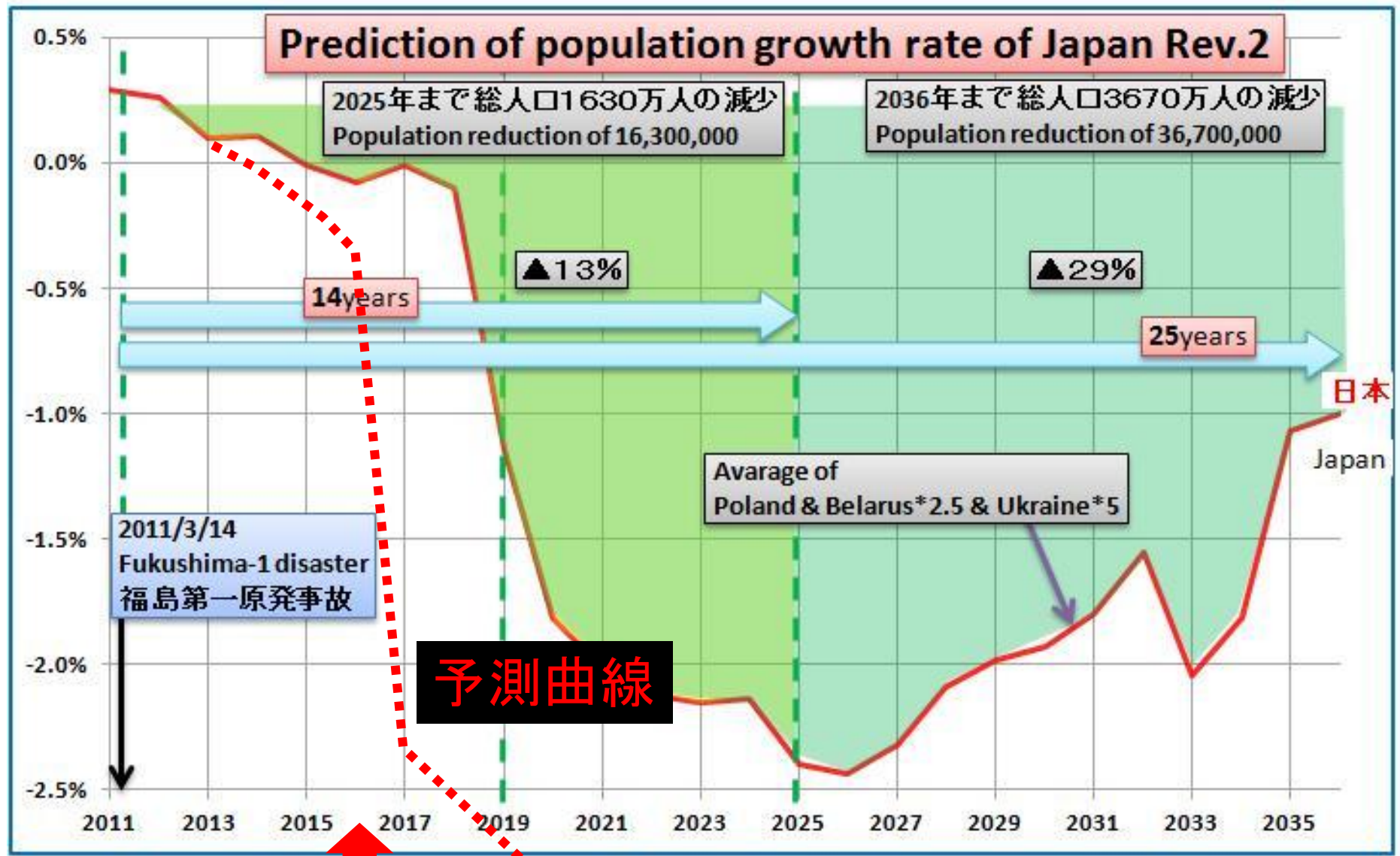
図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移（昭和25年～平成24年）



政府も相当な人口減少を見込んでいる



■ 現実的な人口減少は、さらに急激であろう



5年め

予測

■ 人口減少社会のインパクト

あらゆる社会制度設計が、社会の人口増加を前提としている。

したがって、今後訪れる急激な人口減少社会のインパクトは想像を絶する。
増税しても国家財政が持たないだろう。
拡大を旨とする資本主義社会が、逆流するのだ。

年金福祉制度、医療制度なども持たないだろう。
支える者がいなくなるのだ。

われわれは、自給自足を提案するが、
それとて、五体満足あつてのこと……。

いま、予見できるのは、五体満足すら叶わぬ望みとなる、
壮絶な未来図である。